

差替え修正箇所一覧表

| 章 | 項 | 修正箇所 |
|--------------------------------|---|---|
| 3. 生活環境の整備 | 1. 環境保全対策の推進 | P28／目標指標「環境に関心を持っている市民の割合」の目標値 P28／目標指標「市の事務・事業から排出される温室効果ガス排出量」の基準値及び目標値 |
| | 2. 循環型社会の推進 | P29／現況と課題 P30／施策の方向「2. ごみの適正処理」の施策1及び施策2 |
| | 4. 防災・減災対策の推進 | P33／目標指標「住民の防災意識の向上」の名称及び基準値 |
| | 5. 防犯・交通安全対策の推進 | P35／基本方針 |
| | | P35／目標指標「交通人身事故発生件数」の名称 P36／目標指標「交通安全教室参加者数」の基準値及び目標値 |
| 4. 教育・文化の向上 | 1. 学校教育の充実 | P39／担当課及び関係課 P39／現況と課題 P40／主な関連計画 |
| | 2. 青少年健全育成の推進 | P41／関係課 |
| | 3. 教育研究の推進 | P43／担当課及び関係課 P43／基本方針 |
| | | P43／現況と課題 |
| | 4. 生涯学習の推進 | P45／基本方針 P45／現況と課題 |
| | | P46／目標指標「放課後子供教室の設置数」の目標値 P46／施策の方向「1. 生涯学習の充実」の施策における重点の位置付け P46／施策の方向「2. 社会教育施設の充実」の施策における重点の位置付け |
| | 5. 芸術・文化の振興 | P47／関係課 P47／現況と課題 |
| P48／目標指標「市有施設(指定文化財)の入館者数」の基準値 | | |
| 6. スポーツの振興 | P49／目標指標「スポーツ教室に参加したいと思う市民の割合」の名称及び基準値 P50／目標指標「体育施設の利用者数(年)」の基準値及び目標値 | |
| | P50／目標指標「体育施設の市民満足度」の基準値及び目標値 P50／施策の方向「2. スポーツ施設の充実」の施策における重点の位置付け | |

施策の方向

1. 生活習慣病予防と重症化予防の推進

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|---|-----|-----------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 特定健康診査受診率 | % | 39.8 (2017年) | 50.0 | 55.0 | 58.0 | 60.0 |
| がん検診受診率 (子宮 20～69 歳、大腸・肺・乳 40～69 歳、胃 50～69 歳受診率の 平均) | % | 11.1 | 30.0 | 40.0 | 50.0 | 50.0 |

| 施 策 | |
|----------------|--------|
| 1. 生活習慣病予防の推進 | 重点(戦略) |
| 2. 生活習慣病の重症化予防 | 重点(戦略) |

2. 生涯を通じた健康づくりの推進

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-------------|-----|-----------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 運動習慣がある人の割合 | % | 51.6 (2017年) | — | 55.8 | — | 56.8 |

| 施 策 | |
|---------------|----|
| 1. 保健事業の充実 | 重点 |
| 2. 健康づくり拠点の充実 | |

主な関連計画

- ◇桐生市健康増進計画「元気織りなす桐生 21（第2次）」（桐生市食育推進計画含む）（2013～2022年度）
- ◇桐生市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画（2018～2023年度）
- ◇桐生市国民健康保険第2期保健事業実施計画（2018～2023年度）
- ◇桐生市歯科口腔保健推進計画（2017～2022年度）

3-1 環境保全対策の推進



| | | | |
|-------|-----|------|---|
| 主担当課名 | 環境課 | 関係課名 | 市民生活課、清掃センター、建築住宅課、空き家対策室、新里地域振興整備課、学校教育課 |
|-------|-----|------|---|

基本方針

恵み豊かな環境を守り、未来へ継承していくために、生活環境の保全を図るとともに、「環境先進都市」を目指した環境施策を積極的に推進します。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | | |
|-------------------|-----|---------|-------|-------|-------|-------|---|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | |
| 「環境保全対策の推進」の市民実感度 | % | (2019年) | | - | ↑ | - | ↑ |

現況と課題

- ◆本市の生活環境について、事業所に起因する苦情は減少しつつありますが、野外焼却等の生活密着型の苦情が寄せられており、快適な生活環境を確保するための効果的な対策が求められています。
- ◆子どもたちの環境保全への意識を高めるため、環境教育の充実に取り組む必要があります。
- ◆「みんなでつくる 持続可能で快適な 幸せ感じる環境都市」を目指し、桐生市環境先進都市将来構想に基づく施策を推進しています。
- ◆「エネルギーの地産地消」、「低炭素型交通の構築」を基本に、「地域の自然・産業・文化・人的資源」を最大限活用しながら、地域の実情に応じた取組を市民とともに考え、産学官民が一体となって環境と調和したまちづくりを目指す必要があります。

施策の方向

1. 生活環境対策の推進

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 環境に関心を持っている市民の割合 | % | 69 | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ |

施 策

1. 生活環境の保全
2. 環境教育の推進

2. 温暖化対策の推進

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-------------------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 市の事務・事業から排出される温室効果ガス排出量 | t-CO2 /年 | 34,197 | 33,508 | 33,164 | 32,819 | 32,475 |

施 策

1. 温暖化対策の推進

重点(戦略)

主な関連計画

- ◇桐生市環境基本計画（2011年度～2020年度）
- ◇桐生市地球温暖化対策実行計画（2016年度～2020年度）
- ◇桐生市環境先進都市将来構想（2015年度～2044年度）

3-2 循環型社会の推進



| | | | |
|-------|------------|------|--|
| 主担当課名 | 環境課、清掃センター | 関係課名 | |
|-------|------------|------|--|

基本方針

限りある資源を有効に活用していくため、生産から流通・消費・廃棄に至るまでの物質の効率的な利用やリユース・リサイクルを進め、市民・事業者に対する意識啓発を積極的に行い、ごみの発生抑制、資源の循環的な利用及び適正な処理を推進します。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|------------------|-----|------------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 「循環型社会の推進」の市民実感度 | % | (2019年) | - | ↑ | - | ↑ |
| 1人1日あたりのごみ排出量 | g | 1,019 (2017年) | 1,070 | 1,047 | 1,024 | 997 |

現況と課題

- ◆市民1人の1日あたりのごみ排出量は県平均に比べ高い値で推移しており、環境への負担が少ない循環型社会の構築のために、ごみの発生や排出を抑制するとともに、不要となったものや排出されたごみもできる限りリユース・リサイクルしていく必要があります。
- ◆再生資源については集団回収を奨励していますが、回収量と登録団体数は減少傾向にあることから、実施体制の整備・強化が課題となっています。
- ◆人口減少、3Rの推進などによるごみ量の減少に伴い施設稼働率が低下しており、ごみ処理施設の安定的かつ効率的な運営が必要となっています。

施策の方向

1. ごみ減量の推進

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-----------------|-----|----------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 生活系ごみ1人1日あたり排出量 | g | 777 (2017年) | 741 | 735 | 729 | 721 |
| 事業系ごみ1人1日あたり排出量 | g | 242 (2017年) | 329 | 312 | 295 | 276 |

施 策

1. ごみの発生抑制
2. リユース・リサイクルの推進

2. ごみの適正処理

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-------------------------|-----|------------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| ごみ処理状況 (ごみ処理量/計画収集量) | % | 100 (2017年) | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 最終処分量 | t | 4,941 (2017年) | 4,222 | 4,024 | 3,825 | 3,627 |

施 策

1. 適正なごみ処理の推進
2. ごみ処理施設の適正管理

主な関連計画

- ◇桐生市環境基本計画 2011～2020（2011年度～2020年度）
- ◇桐生市一般廃棄物処理基本計画（2016年度～2025年度）

3-3 消防・救急体制の強化



| | | | |
|-------|---------------|------|--|
| 主担当課名 | 消防総務課、予防課、警防課 | 関係課名 | |
|-------|---------------|------|--|

基本方針

多様化する災害から市民の生命・財産を守るため、地域防災の要である消防団と消防体制の強化に取り組むとともに、救急体制の更なる充実を図り、市民の安全・安心の確保を推進します。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | | |
|--------------------|------|---------|-------|-------|-------|-------|---|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | |
| 「消防・救急体制の強化」の市民実感度 | % | (2019年) | | - | ↑ | - | ↑ |
| 出火率（人口1万人当たりの出火件数） | 件/万人 | 3.15 | 3.13 | 3.11 | 3.10 | 3.08 | |

現況と課題

- ◆大規模化、激甚化傾向にある災害等に対応するため、消防体制の強化が求められています。
- ◆地域防災の要として活動している消防団は、社会を取り巻く状況の変化により団員数が不足しており、地域防災力の維持向上のためには、団員確保対策や活動しやすい環境を整える必要があります。
- ◆年々増加傾向にある救急需要に対応するため、更なる救急体制の強化が求められていることから、救急隊員の資質向上、医療機関との連携強化及び応急手当の普及啓発を図る必要があります。
- ◆管内の出火率（1万人当たりの火災発生件数）の低減を図るため、火災予防の取組の強化が求められます。

施策の方向

1. 消防・救急体制の向上

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|---------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 人口千人当たりの消防団員数 | 人 | 4.53 | 4.71 | 4.76 | 4.82 | 4.89 |
| 消防団協力事業所登録数 | 登録数 | 16 | 18 | 19 | 20 | 22 |
| 認定救急救命士数 | 人 | 92 | 110 | 117 | 124 | 125 |
| 応急手当実施率 | % | 50.5 | 53.4 | 54.8 | 56.3 | 57.7 |

施 策

1. 消防体制の強化
2. 救急体制の強化
3. 火災予防の充実

2. 消防・救急施設の充実

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 防火水槽設置数 | 基 | 531 | 534 | 536 | 538 | 540 |

施 策

1. 消防・救急施設の充実

主な関連計画

◇桐生市地域防災計画（1972年度～）

3-4 防災・減災対策の推進



| | | | |
|-------|-----------------|------|-------|
| 主担当課名 | 安全安心課、土木課、建築指導課 | 関係課名 | すべての課 |
|-------|-----------------|------|-------|

基本方針

災害から市民の生命、財産を守るため、地域住民との協働によって地域防災体制を充実し、地域の防災力を向上するとともに、産、学、官、民がより連携を進め、総合的な防災・減災対策を推進します。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | | |
|--|-----|-----------------|-------|-------|-------|-------|--|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | |
| 「防災・減災対策の推進」の市民実感度 | % | (2019年) | - | ↑ | - | ↑ | |
| 住民の防災意識の向上 (災害に備え家庭で水や食糧の備蓄を行っている市民の割合) | % | 16.5 (2016年) | - | 22.0 | - | 30.0 | |

現況と課題

- ◆大規模災害に対応できるように、災害対策全般を定める「地域防災計画」のほか、被災支援を円滑に受け入れるための「受援計画」を整備することが重要になっています。
- ◆各地域や地区単位での自主防災組織の結成とともに、自治会や自主防災組織では、高齢者・障がい者・乳幼児など、災害時に特別な配慮が必要な人の避難を支援する体制を整え、災害に備えることが重要です。
- ◆災害時は迅速かつ確実な情報伝達が重要であるため、あらゆる情報伝達手段について研究し、災害時の情報通信体制を強化する必要があります。
- ◆土砂災害危険箇所における土砂崩壊などの防止対策や河川の洪水対策に取り組む必要があります。
- ◆減災対策としては、市有建築物の耐震化を進めるとともに、市民へ耐震化の重要性を啓発し、一般住宅についても耐震診断及び耐震改修の促進を図っていく必要があります。

施策の方向

1. 地域防災力の向上

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|--------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 災害時応援協定締結数 | 件 | 55 | 60 | 64 | 67 | 70 |
| 出前講座、講演会参加者数 | 人 | 400 | 420 | 450 | 480 | 500 |

施 策

1. 地域防災力の向上

重点(戦略)

2. 防災・減災体制の強化

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 住宅の耐震化率 | % | 69.9 | 80.0 | 81.0 | 82.0 | 83.0 |

施 策

1. 避難支援体制の強化

重点

2. 情報通信体制の強化

3. 災害に強い都市づくり

主な関連計画

- ◇桐生市地域防災計画（1972年度～）
- ◇群馬県地域住宅等整備計画（2015～2019年度）
- ◇群馬県耐震改修促進計画（2016～2020年度）

3-5 防犯・交通安全対策の推進



| | | | |
|-------|-------|------|----------------------------|
| 主担当課名 | 安全安心課 | 関係課名 | 土木課、学校教育課、新里市民生活課、黒保根市民生活課 |
|-------|-------|------|----------------------------|

基本方針

市民が犯罪や交通事故に巻き込まれることのない、安全・安心な地域づくりを目指し、防犯・交通安全対策を推進します。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|----------------------|-----|------------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 (2019年) | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 「防犯・交通安全対策の推進」の市民実感度 | % | (2019年) | - | ↑ | - | ↑ |
| 刑法犯認知件数 | 件 | 470 | 470 | 465 | 460 | 455 |
| 交通人身事故発生件数 | 件/年 | 388 | 380 | 375 | 370 | 365 |

現況と課題

- ◆本市における刑法犯認知件数は、様々な活動を進めてきたことにより年々減少傾向にありますが、社会情勢の変化に即応した効果的な地域安全活動を推進するため、関係団体と連携し、犯罪抑止対策諸活動のさらなる展開が求められています。
- ◆防犯灯の維持管理に係る自治会等の負担を軽減することで、防犯灯の新規設置を促し、夜間の犯罪抑止を図る必要があります。
- ◆本市の平成28年における交通事故死者数が統計開始以降初めてゼロ件となりましたが、依然として、年間350件以上の交通事故が発生していることから、交通安全対策の充実が課題となっています。
- ◆交通安全啓発活動や運転免許証自主返納を推進するほか、交通事故多発地点などの危険箇所への道路反射鏡など、交通安全施設の整備を進めていく必要があります。

施策の方向

1. 防犯対策の強化

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 防犯出前講座参加者数 | 人 | 227 | 235 | 240 | 245 | 250 |

施 策

1. 防犯活動の促進
2. 防犯対策の充実

2. 交通安全対策の強化

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 交通安全教室参加者数 | 人 | 9,079 | 9,100 | 9,110 | 9,120 | 9,130 |
| 道路反射鏡設置数 | 基 | 3,887 | 3,890 | 3,893 | 3,896 | 3,899 |

施 策

1. 交通安全意識の向上
2. 交通安全施設の整備

主な関連計画

- ◇桐生市安全なまちづくり推進基本計画（2015年度～）
- ◇第10次桐生市交通安全計画（2016～2020年度）

3-6 消費者保護対策の充実



| | | | |
|-------|-------|------|--|
| 主担当課名 | 市民生活課 | 関係課名 | |
|-------|-------|------|--|

基本方針

年々多様化、複雑化する消費者問題に対して、自らの判断と責任で行動することのできる自立した消費者を育成することを目指し、情報提供や啓発活動などの充実に取り組み、消費者保護対策を推進します。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | | |
|--------------------|-----|---------|-------|-------|-------|-------|---|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | |
| 「消費者保護対策の充実」の市民実感度 | % | (2019年) | | - | ↑ | - | ↑ |

現況と課題

- ◆本市の消費者問題については、国の消費者保護のための法整備が進んでいることなどから、相談件数は2004年度の3,464件をピークに2017年度では998件と減少していますが、相談内容はますます多様化・複雑化しており、特にインターネット関連のトラブルやハガキ、SMSなどによる架空請求が増加しています。
- ◆悪質、巧妙化する手口に対応するため、相談員の資質向上や消費者教育を充実させることが課題となっています。
- ◆スーパーマーケット等で計量行為が適正に行われているかを検査する「商品量目立入検査」や家庭用品の品質に関する情報が適正に消費者に提供されているかを検査する「品質表示調査」などの取組を通して、さらなる消費者保護を図る必要があります。

施策の方向

1. 消費者保護対策の充実

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 消費者啓発講座受講者数 | 人/年 | 404 | 400 | 400 | 400 | 400 |

施 策

1. 消費者保護対策の充実

主な関連計画

4-1 学校教育の充実



| | | | |
|-------|-------------------------|------|--|
| 主担当課名 | 学校教育課、教育総務課、学校給食中央共同調理場 | 関係課名 | |
|-------|-------------------------|------|--|

基本方針

桐生を好きな心豊かな子どもを育成するため、桐生ならではの特色ある教育をはじめとする学校教育の充実を図ります。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | | |
|-----------------------------------|-----|---------|-------|-------|-------|-------|--|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | |
| 「学校教育の充実」の市民実感度 | % | (2019年) | - | ↑ | - | ↑ | |
| 「特色ある教育活動」の保護者評価において（4段階中A又はBを選択） | % | 80 | 80 | 80 | 85 | 85 | |

現況と課題

- ◆幼児教育においては、小学校以降における教科等の理解につながるよう、幼児と児童生徒の交流だけでなく教師の相互参観等を含めた交流活動の一層の充実を図る必要があります。
- ◆義務教育においては、特別支援教育の必要な児童・生徒にも配慮しながら、社会の変化に主体的に向き合い、自らの可能性を發揮し、他者と協働しながら、よりよい社会の創り手になるために必要な力を育てていくことが求められています。
- ◆商業高等学校教育においては、豊かな人間性を育み、自ら学び、商業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を育成することが課題となっています。
- ◆教育施設については、幼児・児童・生徒数の減少を踏まえ、持続可能な教育施設の適正配置を進めながら、適切な施設改修を進めるとともに、時代の変化に即した教育環境を整備する必要があります。
- ◆学校給食においては、望ましい食習慣を形成するとともに、食に関する理解を深めるため、学校給食を「生きた教材」として活用し、栄養教諭などによる食に関する指導や地産地消の推進が重要となっています。

施策の方向

1. 教育内容の充実

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|----------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 生徒の授業に対する満足度 | % | 66.4 | 67.0 | 68.0 | 69.0 | 70.0 |
| 生徒の進路実現に対する満足度 | % | 73.8 | 74.0 | 75.0 | 76.0 | 77.0 |

施 策

1. 桐生ならではの特色ある教育の充実 **重点(戦略)**
2. 成長過程に応じた学習内容の充実
3. 専門教育の充実
4. 特別支援教育の充実

2. 教育環境の充実

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|--------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| ICTを活用した授業実施 | % | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 |

施 策

1. 施設・設備の充実
2. 教育の機会均等
3. 学校適正配置の推進

3. 学校給食の充実

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|---------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 地場産物使用割合（市内産） | % | 8.3 | 12.0 | 15.0 | 18.0 | 20.0 |

施 策

1. 学校給食の充実
2. 食育指導の推進
3. 効率的な運営の推進

主な関連計画

- ◇桐生市公共施設等総合管理計画（2017年度～）
- ◇桐生市子ども・子育て支援事業計画（2020～2024年度）
- ◇桐生市市立小学校の小規模校化に係る適正規模・適正配置についての方針（2007年9月～）
- ◇桐生市学校施設等跡利用検討方針（2008年11月～）

4-2 青少年健全育成の推進

| | | | |
|-------|------|------|-------|
| 主担当課名 | 青少年課 | 関係課名 | 学校教育課 |
|-------|------|------|-------|

基本方針

青少年の自立と社会参加を促進するため、学校・家庭・地域の連携を一層深め、環境浄化・非行防止活動を市民総ぐるみの運動として、青少年教育活動を推進します。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|--------------------|-----|------------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 (2019年) | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 「青少年健全育成の推進」の市民実感度 | % | | - | ↑ | - | ↑ |
| 街頭補導出席者数 | 人/年 | 2,514 | 2,547 | 2,600 | 2,650 | 2,700 |

現況と課題

- ◆桐生市青少年問題協議会において、青少年に関わる諸問題に対する施策の審議や適切な実施を検討するため、関係機関・団体の連携を図るとともに、市民への青少年健全育成啓発をさらに推進する必要があります。
- ◆インターネットが発達・普及した現代社会においては、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service, SNS）上でのいじめやトラブルが新たな問題となっており、こうした問題から青少年を保護する必要があります。
- ◆青少年の相談内容の多様化に対応できるように、様々な研修を通して相談員の資質の向上を行い、機能の充実を図る必要があります。
- ◆青少年野外活動センターでは、教育的機能を有する公の施設としてキャンプ活動やその他の野外活動を通じ、青少年の心身の健全な育成を図ることを目的として施設運営の充実を図っていく必要があります。

施策の方向

1. 青少年教育の充実

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|----------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| ネット見守り活動委員会会員数 | 人/年 | 275 | 275 | 285 | 295 | 305 |

施 策

1. 青少年保護活動の充実 **重点(戦略)**
2. 市民総ぐるみ「青少年健全育成運動」の推進
3. 相談機能の充実

2. 青少年教育施設の運営

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-----------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 青少年野外活動センター利用者数 | 人/年 | 13,628 | 13,700 | 13,700 | 13,700 | 13,700 |

施 策

1. 青少年教育施設の運営

主な関連計画

◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度）

4-3 教育研究の推進



| | | | |
|-------|-------|------|-------|
| 主担当課名 | 学校教育課 | 関係課名 | 教育総務課 |
|-------|-------|------|-------|

基本方針

「桐生を好きな子供」の育成に向けた本市の教育のさらなる質の向上を図るため、学力向上や生徒指導等における教育課題の解決につながる教育研究を推進します。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | | |
|---------------------|-----|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--|
| | | 2018年 (2019年) | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | |
| 「教育研究の推進」の市民実感度 | % | | - | ↑ | - | ↑ | |
| 教職員を対象とした各種研修講座受講者数 | 人/年 | 10講座 533人 | 10講座 550人 | 10講座 550人 | 10講座 550人 | 10講座 550人 | |

現況と課題

- ◆学力向上や生徒指導等における多種多様な課題に対応するためには教育研究が必要不可欠であり、より多くの教職員の資質を高めることが求められています。また、桐生市の良さをより多くの教職員に理解してもらう必要があります。
- ◆教育資料室では、教育関係資料のほか郷土関係資料を多数収蔵し、広く市民に公開していますが、より有効に教育へ生かすために、教育資料の公開・活用をさらに充実させることが望まれています。
- ◆適応指導教室においては、人間関係づくりを基盤にし、一人ひとりに応じた支援計画を取り入れることによって不安や悩みを軽減させ、学校や関係機関と連携しながら学校復帰を目指していく必要があります。
- ◆幅広い分野での教育・学習・相談等の拠点づくりを推進するため、中核的な役割を担う教育研究所をはじめとする教育関連施設の機能を充実させる必要があります。

施策の方向

1. 教育研究・相談機能の充実

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-----------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 教職員を対象とした各種研修講座 | 講座 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |

| 施 策 | |
|---------------|--------|
| 1. 教育研究・研修の充実 | 重点(戦略) |
| 2. 教育相談の充実 | 重点(戦略) |
| 3. 教育資料室の充実 | |

2. 適応指導の充実

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 教育相談技術初級資格取得者の割合 | % | 70.2 | 72.0 | 73.0 | 74.0 | 75.0 |

| 施 策 | |
|--------------|--|
| 1. 適応指導教室の充実 | |
| 2. 相談体制の充実 | |

主な関連計画

◇桐生市公共施設等総合管理計画（2017年度～）

4-4 生涯学習の推進



| | | | |
|-------|-----------|------|--------------|
| 主担当課名 | 生涯学習課、図書館 | 関係課名 | 新里公民館、黒保根公民館 |
|-------|-----------|------|--------------|

基本方針

住民自らの「学び」を、よりよい地域づくりへとつなげていけるよう、学校や地域、その他多様な主体との連携により生涯学習を推進します。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-----------------|-----|------------------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2018年 (2019年) | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 「生涯学習の推進」の市民実感度 | % | (2019年) | - | ↑ | - | ↑ |
| 図書館利用登録者数 | 人 | 65,639 | 67,000 | 68,000 | 69,000 | 70,000 |

現況と課題

- ◆ 少子高齢化や人口減少などの社会情勢の変化に伴い、地域社会の抱える課題が多様化していることから、様々な団体と連携し、地域課題の解決に向けた学習機会の充実を図るとともに、学びの成果を地域づくりの実践につなげることが求められています。
- ◆ 社会教育と学校教育、家庭教育は密接に関連していることから、地域全体で子どもの成長を支えていく必要があります。
- ◆ 公民館や図書館等の社会教育施設について、専門性や特色を活かした多様な世代に対応した学習機会の提供を図るための環境整備が求められています。

施策の方向

1. 生涯学習の充実

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 出前講座の利用件数 | 件/年 | 245 | 250 | 250 | 250 | 250 |
| 放課後子供教室の設置数 | 箇所 | 2 | 8 | 11 | 14 | 17 |

| 施 策 |
|--------------|
| 1. 生涯学習機会の充実 |
| 2. 社会教育の充実 |
| 3. 地域連携の推進 |

重点(戦略)

2. 社会教育施設の充実

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|------------------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 市内公民館の市民1人あたりの年間利用回数 | 回 | 3.3 | 3.7 | 3.8 | 3.9 | 4.0 |
| 図書館資料所蔵数(CD・DVD等含む) | 点 | 374,391 | 381,000 | 384,000 | 387,000 | 390,000 |
| 図書館資料貸出数(CD・DVD等含む)(年) | 点/年 | 376,936 | 391,000 | 398,000 | 405,000 | 413,000 |

| 施 策 |
|--------------------|
| 1. 公民館の充実と学習要求への対応 |
| 2. 図書館の充実 |

主な関連計画

- ◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015~2019年度)
- ◇桐生市子ども・子育て支援事業計画(2015~2019年度)

4-5 芸術・文化の振興



| | | | |
|-------|--------------|------|--------------|
| 主担当課名 | 生涯学習課、文化財保護課 | 関係課名 | 新里公民館、黒保根公民館 |
|-------|--------------|------|--------------|

基本方針

心豊かなまちづくりを目指し、芸術文化活動を促進するとともに、文化財の保護・活用などを行い、市民の芸術・文化の振興を図ります。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | | |
|------------------|-----|------------------|-------|-------|-------|-------|--|
| | | 2018年 (2019年) | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | |
| 「芸術・文化の振興」の市民実感度 | % | (2019年) | - | ↑ | - | ↑ | |

現況と課題

- ◆先人の残した歴史的資産を後世に伝えていくため、文化財の活用並びに積極的な公開を進め、有効活用に向けて意識の向上を図っていく必要があります。
- ◆文化関係団体の実施する事業について、効果的・効率的な実施を促す必要があります。
- ◆芸術文化活動の拠点となる桐生市市民文化会館、桐生明治館、有鄰館等の施設の充実や適正な維持管理、効果的な運営方法の検討が求められています。

施策の方向

1. 芸術・文化活動の推進

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|------------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 市民文化会館入館者数 | 人/年 | 304,518 | 338,000 | 338,000 | 338,000 | 338,000 |
| 市有施設(指定文化財)の入館者数 | 人/年 | 70,475 | 79,800 | 81,200 | 82,600 | 84,000 |

施 策

1. 文化活動の支援
2. 芸術文化活動拠点施設の充実

2. 文化財の保護・活用

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|-----------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 文化財の公開施設数（常時・イベント時合計） | 件/年 | 16 | 20 | 22 | 24 | 26 |

施 策

1. 文化財の保護・活用

主な関連計画

◇桐生市歴史的風致維持向上計画（2017～2026年度）

4-6 スポーツの振興



| | | | |
|-------|---------|------|--------------|
| 主担当課名 | スポーツ体育課 | 関係課名 | 新里公民館、黒保根公民館 |
|-------|---------|------|--------------|

基本方針

一人でも多くの市民にスポーツを楽しんでもらうため、いつでも、どこでも、誰でも楽しめるスポーツを推進します。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|----------------------|-----|------------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 (2019年) | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 「スポーツの振興」の市民実感度 | % | (2019年) | - | ↑ | - | ↑ |
| スポーツ教室に参加したいと思う市民の割合 | % | 63 | 70 | 70 | 70 | 70 |

現況と課題

- ◆各種スポーツの推進については、桐生市体育協会加盟の競技団体が市民大会をはじめ、スポーツ教室等を開催し競技種目の振興を図っています。
- ◆競技力向上対策では、桐生市体育協会加盟団体と連携を図り、その競技における専門的な技術指導者の確保やスポーツ医科学面での支援体制の整備が必要となります。
- ◆生涯スポーツの正しい在り方や生涯にわたってスポーツを親んでもらう施策を積極的に講じる必要があります。
- ◆スポーツ施設においては、各施設において老朽化が進んでいることから、スポーツ施設全体の整備・改修を検討する必要があります。

施策の方向

1. スポーツ活動の推進

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|--------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 体育施設の利用者数（年） | 人/年 | 390,164 | 300,000 | 420,000 | 420,000 | 420,000 |

施 策

1. スポーツイベントの開催・支援
2. 競技スポーツの推進
3. 生涯スポーツの推進
4. 団体・指導者の育成

2. スポーツ施設の充実

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | |
|------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 |
| 体育施設の市民満足度 | % | 64 | 70 | 70 | 70 | 70 |

施 策

1. スポーツ施設の充実

重点(戦略)

主な関連計画

5-1 道路交通網の整備



| | | | |
|-------|-----------------------|------|----------------------|
| 主担当課名 | 都市計画課、土木課、建築指導課、用地対策室 | 関係課名 | 新里地域振興整備課、黒保根地域振興整備課 |
|-------|-----------------------|------|----------------------|

基本方針

産業、観光、経済等の発展と安全かつ円滑な道路交通を確保するため、本市と首都圏をつなぐ高速道路網へのアクセス道路や都市間及び都市内の骨格を形成する幹線道路、さらに市民の生活を支える生活道路の整備に取り組みます。

| 目標指標 | 単 位 | 基準値 | 目標値 | | | | |
|------------------|-----|---------|-------|-------|-------|-------|--|
| | | 2018年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | |
| 「道路交通網の整備」の市民実感度 | % | (2019年) | - | ↑ | - | ↑ | |

現況と課題

- ◆高速道路網を活かすため、北関東自動車道へのアクセスの向上を図ることが課題となっています。
- ◆都市間の連絡強化や災害時における交通機能を確保するとともに、市街地内の主要な路線・交差点の渋滞解消を図るため、周辺都市と連携した一体的な道路交通体系の確立が課題となっています。
- ◆橋や道路施設等を長寿命化し、安全性の確保と補修費用等を抑制した維持管理を行っていくことが課題となっています。
- ◆狭あい道路や道路の危険箇所等の解消を図るとともに、道路空間と沿道空間の一体性に配慮した良好な景観形成や街路樹の維持管理、ユニバーサルデザインの導入が求められています。